

2019年度

授業概要

科目名	機能解剖学（運動学）						授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	30	回	時間数	60	時間	4	単位	配当学年時期	1年	後期	
【授業の目的・ねらい】											
人の体を運動を通して構造と機能を学ぶ											
【実務者経験】											
【授業全体の内容の概要】											
骨・関節・筋・神経との関連を運動を通じて学ぶ											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】											
関節構造を理解でき、関節ごとに必要なメカニズムと関節運動や筋活動を説明できる。											
回数	講義内容										準備物(教材)
1	オリエンテーション、生体力学										
2	生体力学										
3	関節運動学概論										
4	肩関節の運動1										
5	肩関節の運動2										
6	肩関節の運動3										
7	肘関節および前腕の運動1										
8	肘関節および前腕の運動2										
9	手関節の運動1										
10	手関節の運動2										
11	手指の運動1										
12	手指の運動2										
13	脊柱の運動1										
14	脊柱の運動2										
15	脊柱の運動3										
16	前半の振り返り1										
17	前半の振り返り2										
18	前半のまとめ										
19	股関節の運動1										
20	股関節の運動2										
21	股関節の運動3										
22	膝関節の運動1										
23	膝関節の運動2										
24	足関節・足部の運動1										
25	足関節・足部の運動2										
26	歩行1										
27	歩行2										
28	咀嚼・換気の運動1										
29	咀嚼・換気の運動2										
30	後半のまとめ										
【 使用教科書・教材・参考書 】											
基礎運動学（中村隆一）医歯薬出版、エッセンシャルキネシオロジー（弓岡光徳）南江堂 15レクチャーシリーズ運動学（石川朗）中山書店											
【 準備学習・時間外学習 】											
前期に学習した自然科学や解剖生理学Ⅰ（運動器系）および解剖生理学Ⅱ（神経系）の復習を十分行い、授業に望むこと。また、講義内の単元ごとに復習授業を実施するため、その復習授業に向けた資料作成の準備を怠らないこと。											
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】											
試験の結果を100点満点として成績を評価する。 小テストを30点、定期試験を70点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。											